

一応供覧	文書 分類	保存 年限	1 3 5 10 永	
議長 	局長 	書記 	主任 /	担当

1号様式

令和8年8月24日

津南町議会議長 風巻 光明 様

議席番号 7 番

議会議員 恩田 稔



一般質問の通告について

令和8年9月9日開会の第3回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
総合振興計画のあり方について	平成17年（2003年）津南町は市町村合併には組みせず自律の道を選択した。10年後の人口目標を13,000人とし、新生津南のまちづくりがスタートしたものと理解している。13,000人という目標を決めたワーキンググループに私も参加をしていた。様々な意見があり、熱のこもった議論を重ね、高い目標に落ち着いた経緯がある。数字には疑問があったが、始めから縮小を目標にしていいいのか、当時の町民には活力があった。 あれから20数年が経過し、取巻く環境も大きく変化した。戦争が起きるなど考えもしなかった時代から、世界各地で戦争が起き、想像の世界から現実のものになった。世界経済にも私たちの日常生活にも大きな影響を与えている。 また、地球温暖化は地球沸騰化と言わ	町長



	れるなど悪化の一途である。その影響も深刻であり、大規模の災害や干ばつを世界各地で引き起こしている。食料の多くを海外に依存している日本には今後大きな影響が出るのではないかと危惧されている。 そして生成AIの急速な進歩は世界のあり様を変えていく勢いであると言われ、AIに仕事を奪われることも、AIに指示されて仕事することも普通になる。特に事務作業は大きく変化する時代がすぐそこにある。このように社会が変動する中で、少子高齢化が進み、財政規模の縮小が避けられない津南町。優先度や予算規模に見合った政策の選択が必要になる。本年3月、令和8年度～12年度の総合振興計画・基本構想・後期基本計画が策定された。唯一部門横断的での中長期的な計画であり、重要なものとの認識はあるものの従来のままで良いのか2点伺う。 1. 首長の公約との整合性は 2. まちづくりの基本方針を示す最上位計画として機能しているか	
人口ビジョンについて	コロナの時期に少し地方への動きがあったが、東京一極集中は収まるどころかさらに進んでいる、今回の国勢調査結果からも人口が増えたのは東京と沖縄だ	町長

けで、今まで増え続けていた神奈川、埼玉、千葉県でさえも減少になった。そしてそのしわ寄せが地方に及び、人口減少を大きく加速させている、どうすることもできない現実がある。それを踏まえての人口ビジョンだと思うが、昨年10月に行われた国勢調査の速報値が5月に公表された結果、津南町の人口は7,974人、5年前と比較すると1,105人の減、率で11.3%の減になった。2点について伺う。

1. 人口ビジョンを示す意義
2. 外国人の受け入れについて